

2023年1月10日

企業会計基準委員会とカナダ会計基準審議会の代表者がトロントで二者間会合を開催企業会計基準委員会
カナダ会計基準審議会

企業会計基準委員会（ASBJ）とカナダ会計基準審議会（Accounting Standards Board; AcSB）の代表者は、2023年1月9日に、カナダのトロントで二者間会合を開催しました。この会合は、ASBJとAcSBとの間での4回目の二者間会合となります。この会合には、サステナビリティ基準委員会（SSBJ）とカナダ財務報告保証基準協会のサステナビリティ基準チームの代表者も出席しました。

今回の会合において、ASBJとAcSBの代表者は、お互いの活動の最新の状況を提供するとともに、両基準設定主体が共通の関心を有している項目である暗号資産等について議論を行いました。また、SSBJとカナダ財務報告保証基準協会サステナビリティ基準チームの代表者も、お互いの活動の最新情報を提供しました。さらに、日本とカナダの会計及びサステナビリティに関する主体の代表者は、サステナビリティ報告と財務報告のコネクティビティについて合同で議論しました。

ASBJとAcSBは、引き続き、意見交換を続けていく予定です。

川西安喜ASBJ及びSSBJ委員長は次のように述べています。

「今回、トロントで対面形式による会議を主催頂いたことにつき、ASBJ及びSSBJよりAcSBに感謝の意を表したい。会計基準については、IFRS会計基準と米国会計基準とのコンバージェンスの重要性を確認するとともに、双方が高い関心を持つテーマについて建設的な議論を行うことができた。また、サステナビリティ開示基準については、お互いの取組みの最新情報を提供した。ASBJ及びSSBJは、AcSBとの実りのある対話を継続し、今後数か月のうちに活動が本格化するカナダサステナビリティ基準審議会（CSSB）との対話を開始することを楽しみにしている。」

アーマンド・カピシオルトAcSB臨時議長は次のように述べています。

「AcSB議長という新たな役職において、ASBJと対面で繋がる機会を得られたことを嬉しく思う。互いの法域におけるサステナビリティ報告及び財務報告への着目や、暗号資産の会計処理に関する議論から見て取れるように、グローバルに比較可能な報告への支援という我々の共通目標は進化し続けている。」

リサ・フレンチカナダ財務報告保証基準協会サステナビリティ基準チーム副議長はさらに次のように述べています。

「サステナビリティ報告と財務報告との間のコネクティビティの重要性を強調することは不可欠である。各国レベルで協調して取り組むことにより、グローバルなサステナビリティ開示基準の影響を受ける広範囲の人々の、質の高いサステナビリティ報告への道のりに対する支援を確実にすることができるだろう。」

企業会計基準委員会（ASBJ）について

ASBJは、2001年7月に公益財団法人財務会計基準機構（FASF）の下に設立されたプライベート・セクターの機関である。ASBJが開発した会計基準は、金融庁により日本において一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなる。ASBJは、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発している。ASBJは、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献している。ASBJに関する詳細な情報は、ウェブサイト (<https://www.asb.or.jp/jp/>) をご参照頂きたい。

サステナビリティ基準委員会（SSBJ）について

SSBJは、2022年7月にFASFの下に設立されたプライベート・セクターの機関である。サステナビリティ開示基準の法的枠組みは金融庁が決定することとなっており、SSBJはその枠組みが設定されたのちに、その枠組みに沿って国内基準を開発することとなる。SSBJは、国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）のJurisdictional Working Group（JWG）のメンバーであり、サステナビリティ基準アドバイザー・フォーラム（SSAF）の初期メンバーの1つに選任されている。SSBJに関する詳細な情報は、ウェブサイト (<https://www.asb.or.jp/jp/>) をご参照頂きたい。

カナダ会計基準審議会（AcSB）について

AcSBは、パブリック・セクターを除くすべてのカナダ企業が用いる会計基準を定める権限を有する独立の機関である。AcSBは、すべてのプライベート・セクターのカナダ企業が財務報告を行うための基準を定めることを通じて、また、国際的に認められた財務報告基準の開発に貢献することを通じて、公共の利益に貢献している。

AcSBは、独立の機関として、財務諸表利用者が十分に情報を得て経済的意思決定を行うことを支援するために、カナダ会計基準を開発及び維持している。その開発及び維持は、プライベート・セクターのカナダ企業が報告する財務業績に関する高品質な情報を提供する基礎となるフレームワークを維持することを通じて行われている。会計基準は、取引その他の事象について、財務諸表においてどのように認識し、測定し、表示し、開示すべきかを定めている。

カナダサステナビリティ基準審議会 (CSSB) について

カナダサステナビリティ基準審議会 (CSSB) は、2022 年 6 月に、IFRS®サステナビリティ開示基準の開発及びその適用の支援、並びにその関連性を評価する際にカナダの状況を考慮することに取り組むことで、カナダにおいてサステナビリティ開示が基準化されることを確実にするために公表された。独立の機関として、CSSB により開発及び維持される基準は、サステナビリティ報告の信頼性を構築し促進するために極めて重要である。これらの基準は、カナダにおいて報告され保証される質の高い情報に貢献し、情報に基づく意思決定をさらに支援する。CSSB は、2023 年 4 月の稼働開始を目指している。

AcSB 及び CSSB に関する詳細な情報は、ウェブサイト (www.frascanada.ca) をご参照頂きたい。